

宇都宮市五代若松原地区

まちづくりの通信

令和3年1月号 Vol.42



(ふれあい広場 東屋南側より 若中方向)

目次

- | | | | |
|-----|------------------------------|-----|------------------------------------|
| P-1 | 表紙 ふれあわないつどい
目次 | P-4 | スポーツゾーン紹介
(カンセキスタジアムとちぎ) |
| P-2 | 教育・保育施設リレーコーナー
とちの葉保育園 | P-5 | ふれあわないつどい
わが家の天使たち |
| P-3 | 五若地域の古墳・歴史紹介
(溜西古墳) (記念碑) | P-6 | 退任役員等功労表彰
『功労ボランティア』を受賞
編集後記 |

教育・保育施設リレーコーナー

～こどもの夢・希望・未来にロマンを追って～

とちの葉保育園

五代若松原地区の皆さん！こんにちは！！

とちの葉保育園です。小粒でもキラリと光る保育を目指しています。

開園日は平成29年4月1日

学校法人石嶋教育会が運営する認定すずめこども園付属の小規模保育園（認可定員19名）として園児6名職員10名でスタート。

現在は園児19名職員15名



ハロウィンで若中生徒と

大切にしていることは

- 自然とのふれあい
(四季ごとに楽しい行事を行います)
- 遊びを通して友だちの関係づくり
(子どもの育ちの源は遊びからです)



親子そろっていちご狩り

保育目標

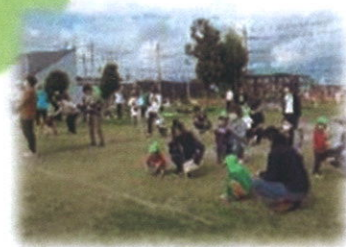
- 明るい子
- 健康でたくましい子
- 情操豊かな正しい子

保育の基本方針

- 心身の健やかな発達と豊かな情操の育成を目指します



秋の焼き芋パーティー



ふれあい広場でのミニ運動会

とちの葉保育園はとても小さな可愛い保育園ですが小粒でもキラリと光る保育を目指しています。

夢、希望、未来のある子どもたちのために、園と地域が一体となって保育活動ができるよう、これからも地域と連携をとりながら可愛がっていただける保育園づくりを目指してまいります。



季節の野菜づくりにチャレンジ

今、私たちの保育園が地域の子どもを育てる役割をできる限り果たしたいと考えていますので、今後ともよろしくご支援ご協力のほどお願いいたします。

教育・保育施設リレーコーナーは今回が最終回。次回からは高齢者福祉施設の予定です。

ためにし
今回は溜西遺跡（若松原1丁目）を紹介します。

溜西遺跡は、若松原1丁目に所在する遺跡です。
宅地造成に伴い令和2年1月6日～25日まで発掘調査が宇都宮市教育委員会の調査指導により行われました。

五代・若松原は、若松原遺跡、西原北遺跡、二軒屋遺跡、若松原南遺跡（若松原3丁目）、北若松原遺跡（北若松原）、一向寺別院付近遺跡、溜西南遺跡（若松原1丁目）など、縄文時代から平安時代にかけての集落跡が多数ある地域であります。

平成29年度には、近隣の溜西南遺跡から古墳時代の堅穴住居跡21軒、奈良・平安時代の堅穴住居跡3軒が確認されており、溜西遺跡を含めたこの地域には大規模な集落があったことが伺われます。

調査結果

参考文献… 宇都宮市教育委員会調査報告書・宇都宮市立図書館 五代若松原地域データブック

所収遺跡名	所在地	調査面積	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物
溜西遺跡	若松原1丁目 1080番19 1080番1	420㎡	集落	縄文時代		縄文土器
				古墳～ 奈良・平安	堅穴住居跡 5軒 土坑 1基	土師器・須恵器 瓦・石製品
				近世	溝 1条 ピット	内耳土器
				時期不明	溝 3条	



S04 カマド



S05 土層断面



S05 遺物出土状況



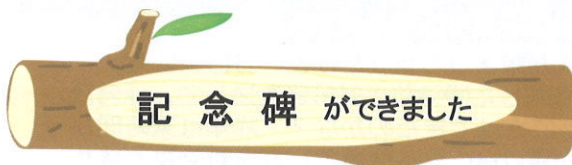
SD01 遺物出土状況



出土遺物の一部



調査区全景 西から



記念碑ができました

株本俊夫様の農地内に、写真のような記念碑が建てられました。向い面には若松原5号公園が完成しております。散歩がてらに観に行ってもいいのではないでしょうか？

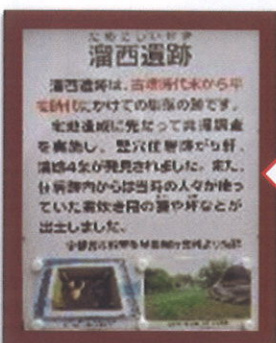
(注意…出土展示箱は、普段はカギがかかっています)



石碑



出土状況の再現中



説明看板



記念碑の全景 東から



出土状況の再現

スポーツゾーン紹介



『カンセキスタジアムとちぎ』を観てきました。



・「カンセキスタジアムとちぎ」が完成し、12月16日に栃木SC主催の記念試合を観戦（栃木一千葉）。結果は栃木SCの勝利！また、受付のお手伝いも体験してきました。後日スタジアムを見学し、関係者から色々お話を聞いてきました。

・1階から見上げた時、スケールの大きさにビックリ!!この施設は宇都宮競馬場跡地を活用した県内最多の約25,000席を誇る陸上競技場兼サッカー場です。

・2022年に開催される「いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会」のメイン会場の予定です。

下記の**“3つの要素”**を考慮しながら建設したそうです。

“とちぎ”を表現 県産財・県産品を最大限活用する他、県内企業の持つ様々な技術を結集する。

“百年”愛される 周辺環境との調和やライフサイクルコストの最適化等により県民に末永く愛される整備をする。

主役は“ひと” 「する」スポーツ、「みる」スポーツ、各々に対応した施設構造、人の動線などを確保する。

●施設の概要

・陸上競技場
（第1種公認）
全天候型舗装400m
トラック 9レーン

・サッカー場
（Jリーグ施設基準）
天然芝1面

客席数
約 25,000席



スタジアム全景



試合中 前半



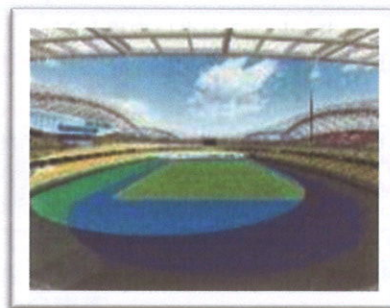
試合中 前半



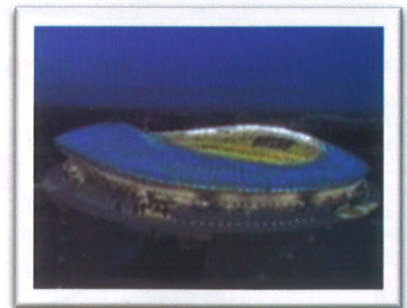
室内ウォームアップエリア



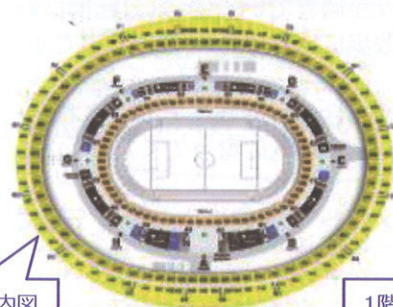
チーム控室



スタジアム内



スタジアム夜景



観客席・案内図



1階・案内図

ふれあわないつどいを開催して



コロナに負けるな 『五若を照らす3つのひかりの饗宴』



11月29日（日）夜、五代若松原地区まちづくり推進協議会主催のふれあわないつどいが開催され、育成会の子供たちによる広場を照らす『キャンドルの点灯』、広場を彩る『イルミネーションの点灯』、そして、最後に若松原中学校からの地域を盛り上げる『花火の打ち上げ』を行いました。

新型コロナウイルス感染防止の為、五代夏まつり・五若ふれあい体育祭・文化祭など多くの行事が中止になる中、まちづくり推進協議会小池会長を中心に協議を重ね、従来の『ふれあいのつどい』の餅つき、餅の提供、各種ゲームなどを変更し、コロナに負けるな「五若を照らす3つのひかりの饗宴」をテーマに実施しました。

多くの皆さんが、夜空の花火を見上げながら、地域のふれあいの大切さを感じるひとときとなりました。

実行委員長 増本 澄男（五代2丁目自治会長）

デザイン 石川希望さん
(みどり野町)

点灯式 梅田あかりさん
梅田 真由さん（若松原2丁目）



キャンドル準備中



キャンドル完成



点灯式



点灯式 ON



花火（ふれあい広場から）



わが家の天使たち



姉妹で仲よく遊んだり、喧嘩をしたり、毎日の日々が過ぎていく中、気分転換に新川の傍を散歩に出かけた時の一コマです。

二人で顔を合わせて嬉しそう、これからも”すすく”元気に育ってくださいね。

…コメント 父 伸也さん・母 元美さん

薄井 愛雅 ちゃん（5歳）
薄井 絆雅 ちゃん（2歳）

若松原 1丁目



家族でのクリスマス

退任役員等功労表彰

当地区活動の中心的な存在として永年貢献してきたお二人に、このほど感謝状が贈られました。

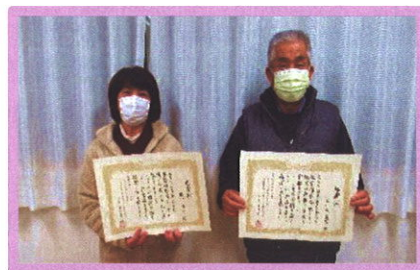
○前・体育協会会長 **五十嵐義廣**さん

体育協会会長として長期間に亘り様々な事業を推進し、地域の体育振興とコミュニケーション形成に貢献しました。

○前・事務局次長 **福田浩子**さん

連合会の庶務や会計を長期に亘り歴任し、事務局次長としても基軸となって地域活動を支えてくれました。

※本来は「五若の日」式典で行うところですが、自治会長会議で表彰し、本紙での紹介となりました。



全国防犯『功労ボランティア』を受賞

安全で安心なまちづくりをはじめ防犯活動など警察行政各般への理解と協力に寄与しているとして、このほど、五代若松原地区まちづくり推進協議会が、全国防犯協会連合会長「功労ボランティア」団体表彰を受賞しました。伝達式は、コロナ禍さなかの昨年10月13日に縮小して開催された「第45回地域安全県民のつどい」の場において、まちづくり推進協議会小池会長に表彰状が授与されました。

今回の受賞は、全国レベルでの評価という面からしても率直に喜び合いたいと思います。同時に、今回の受賞を叱咤激励と受け止め賞に恥じないよう尚一層の活動強化に取り組んでいきたいと考えます。

防犯部会会長 阿部 晃 (みどり野町自治会長)



コロナ対策「ゼロ密」を目指しましょう

「密閉」「密集」「密接」しない！

連合会長のつぶやき

5ページで紹介した「ふれあわないつどい」。予想外にたくさんの方が集まっちゃったけど、コロナに対応した内容の転換や徹底した感染防止対策等を通して、「自己責任で感染を防ぐ」という意識を高めることはできたのかな？ 昨年は家時間が増えたことで、ウクレレ・メダカ・ぬか漬けetc.そんな過ごし方を新発見できた年だった。

悪いことは何でもコロナのせいにしがちだけど、withコロナで新生活を・・・なんて考えるのは俺だけなんだろうな～。

今回はコロナ対策に伴う自粛の影響で、主な行事結果は『ふれあわないつどい』を中心に記事にしました。また、今の情勢にかかわらず記事に協力して頂いた、役員の皆様、とちの葉保育園様、株本俊夫様(北若松原)、宇都宮市教育委員会様、栃木県総合運動公園カンセキスタジアム様、ご協力ありがとうございました。

新たに「わが家の天使たち」のコーナーを設けました。「乳児・幼児を含む兄弟のエピソード」を父・母が紹介します。掲載希望の方は事務局までお申し込みください。自薦・他薦は問いません。

五代若松原地区まちづくり推進協議会 事務局 (まちづくり通信編集委員会)

安生 功 湯澤 久代 高野 康子 福田 一朗 安納 祐子 福田 勝美 蒲生 正行 (委員長)

編集部
より